

C. M さん 28 歳 会社員

【令和 6 年受験対策 社労士合格コース(教室通学)】

Q. 社会保険労務士試験を目指そうとしたきっかけを教えてください。

- A. 正直特別な意識はありませんでした。ふと自分の将来に不安を感じて資格をとろうと思った時、たまたま目についたのがきっかけです。社労士はこれまでの仕事や生活で触れる機会の多い労基法、労災法、健康保険法を学べるということで、割と身近に感じられ、選んだのだと思います。

Q. 社会保険労務士試験を目指すのに大原を選んだ理由を教えてください。

- A. 通学で検討していたところ、家族の知り合いの社労士の方より大原の静岡校を勧めていただきました。説明会に実際に参加して好感触だったので選びました。

Q. 1日何時間程度、勉強しましたか？

- A. 平日:1~2 時間
休日:3~6 時間
直前期:最大でも 6 時間程度。超直前は空いている時間はほぼ全て何かしら読んだりしました。

Q. 1番苦勞した科目は何ですか？どのように克服しましたか？

- A. 労災法、健康保険法。模試の 1 回目で点数がふるわず、次の模試までに択一トレ問を再度解きました。教科書も同時に目を通し、勘違い等がないか確認しつつ進めました。労災法は教科書に載っていることはガチガチに知識を固める意識で勉強しました。

Q. 問題集は何回繰り返しましたか？

- A. 択一トレ問:6~7 周
選択トレ問:1~3 周

Q. 5月頃(直前期に入る前)までの勉強方法について教えてください。

- A. 確認・中間テストのスケジュールに合わせ、択一トレ問を 3~4 周解くこと、テキストの該当部分の確認を行いました。それと並行して、以前学習した科目も復習していました。

Q. 6月以降(直前期)の勉強方法について教えてください。

- A. 直前対策演習や模試のスケジュールに合わせ、全科目の総復習を行いました。ここでも択一トレ問とテキストの往復で、忘れた部分も多いので、記憶の呼び覚ましが主な目的でした。8 月以降は全科目の確認、中間テスト、直前対策、模試 2 回分を再度解きました。模試で集中力の無さと勉強不足を痛感したためです。これにより、大量の文章を読む体力と知識の瞬発力などが養われたと思います。

Q. 本試験当日に注意すべき点など、何かアドバイスはありますか？

- A. 想定外のこと(全く知らない問題が出る、周囲の音がうるさいなど)は起こると分かっているけど、本番で平常心を保つのは難しいことだと思います。なので、自分でコントロールできること(解く

順番や時間配分、マークシートに転記するタイミングなど)は予め決めておくことで、ペースを乱される原因を少しでも減らすことが大切だと思いました。

Q. 今後はどんな道に進む予定ですか？または、現在どのような道に進んでいますか？

A. 社労士事務所に転職し、実務経験を積んで、1日も早く一人前の社労士として活動することを目指します。

Q. 率直に、合格発表直後の心境はいかがでしたか。

A. 試験が終わってから合格発表までの1ヵ月間はあまりに長く、生きた心地がしませんでした。合格が分かった時は、喜びというより安堵感が強かったです。